

Human Resources

01

社員とともに成長する企業へ

高速道路事業を支える人材育成の取り組み

高速道路の未来を担う多様な人材を育てる

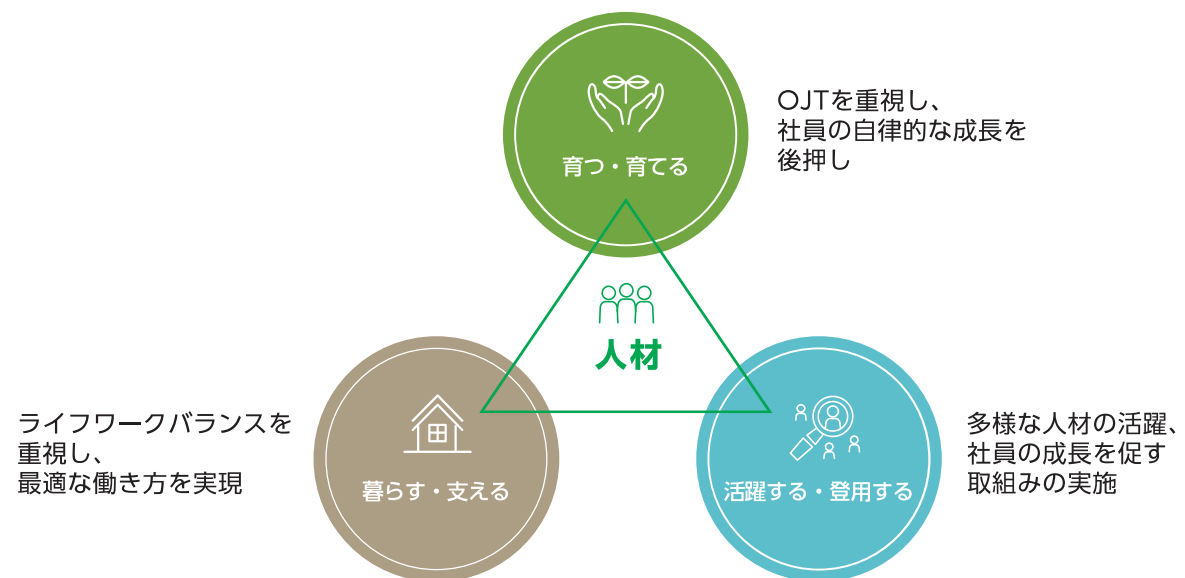


社員一人ひとりが持つ能力やスキルを最大限に発揮できる人材育成の強化

〔人材育成方針〕

高速道路を将来にわたり維持し、進化させ続けるためには、現場力の源泉である人材を確保し、育成していくことが重要です。当社が求める人材像・能力・スキルを明示し、人材育成手法、ジョブローテーションとライフステージを両立する仕組みなどを盛り込んだ人材育成方針を策定し、社員一人ひとりが持つ能力・スキルを最大限に発揮できるよう人材育成を強化しています。

当社の事業エリアには、交通量の多い首都圏や雪への対応が必要な地域など、さまざまな地域があり、いずれの地域でもお客さまに同レベルの高品質な高速道路空間、サービスを提供していく必要があります。そのため、さまざまな地域で経験を積むジョブローテーションを通じて社員が成長できるよう、OJTを中核とする人材育成を強化しています。また、社員がライフステージとジョブローテーションを両立し、望んだキャリアパスを歩めるよう、ライフワークバランスを重視した施策を拡充しています。

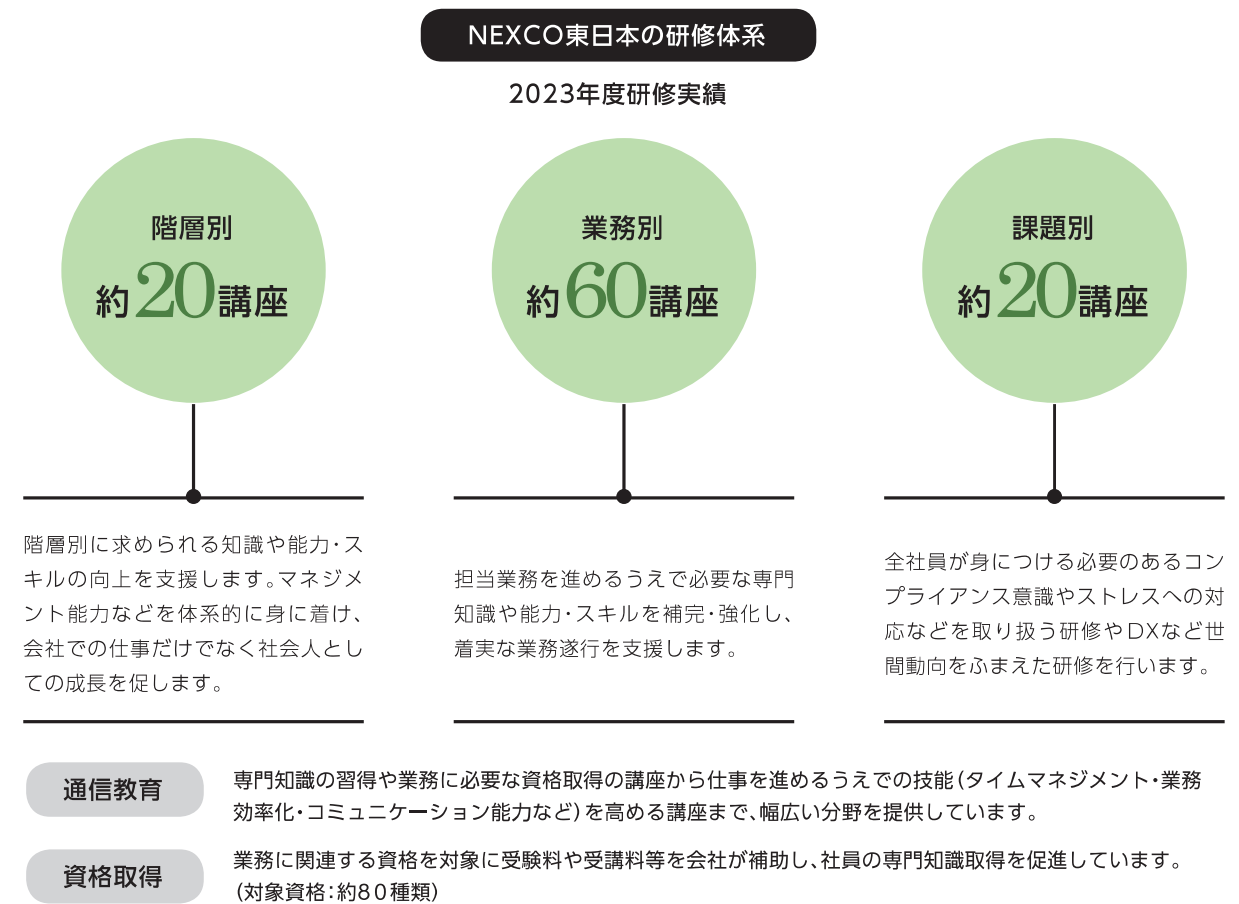


- ＊ ジョブローテーションの中で、社員が着実に高い能力・スキルを得られるようOJTを強化
- ＊ 業務や勤務地に関する社員の希望を細やかに確認し、最適なジョブローテーションを実現
- ＊ 多様な人材がともに働き、新たな価値を創造していく職場環境づくり

一人ひとりの成長をサポート

〔OJTを支援する仕組み〕

日々の業務から必要な知識やスキルを取得するOJTを重視し、教えるスキルやコミュニケーション能力の向上を意識した研修を行っています。その他、国内外への留学を支援する制度もあります。



〔技術力・マネジメント力の向上〕

技術力・マネジメント力の習得のため、実務経験に応じた研修の受講による技術者育成を行っています。NEXCO東日本総合技術センターでは、VRや3Dなどを活用して、構造物が劣化するメカニズムを体験・体感することができます。また、現場から撤去した構造物(橋りょう床版や舗装等)を用いて疑似現場経験を積むことができます。



生産性向上・効率化を追求

研修や講座による人材育成とは別に、生産性や業務効率を高める職場を醸成するための活動を展開し、共有された情報などは、NEXCO東日本グループ内の各職場で活かされています。

〔「E-Shokubaづくり運動」で
時間外勤務の削減と休暇取得を促進〕

所定労働時間内に業務を終えることを基本に、社員の健康保持・増進を支援することが、仕事の生産性を高め、生き生きと働くことができる健康的な職場を造成し、ライフワークバランスの充実につながるとの考えのもと、5つの柱からなる運動に取り組んでいます。

5つの柱（2024年度）

1. 労働時間の短縮及び適正な把握にかかる取組み

2. ワークスタイルの変革にかかる取組み

3. 健康保持・増進支援にかかる取組み

4. メンタルヘルス・ハラスメント防止にかかる取組み

5. 意識改革にかかる取組み

〔「TD&S+（タスク・ダイエツト&エスプラス）活動」で業務改善事例を蓄積・共有〕

社員一人ひとりが自主的に取り組む業務改善として、「TD&S+活動」を展開しています。2006年度から開始し、これまでに1万件を超える改善事例が報告・蓄積されているほか、毎年グループ全体で発表会を開催しています。

〔「生産性向上検討会」で維持管理の業務効率化を推進〕

生産性向上検討会では、これまでに約200項目にわたる検討を進め、業務用アプリや新たなスキーム等の導入により高速道路の維持管理の効率を図ってきました。実施してきた施策の評価と新たな社員からの改善提案をふまえ、更なる業務効率化を進めています。

